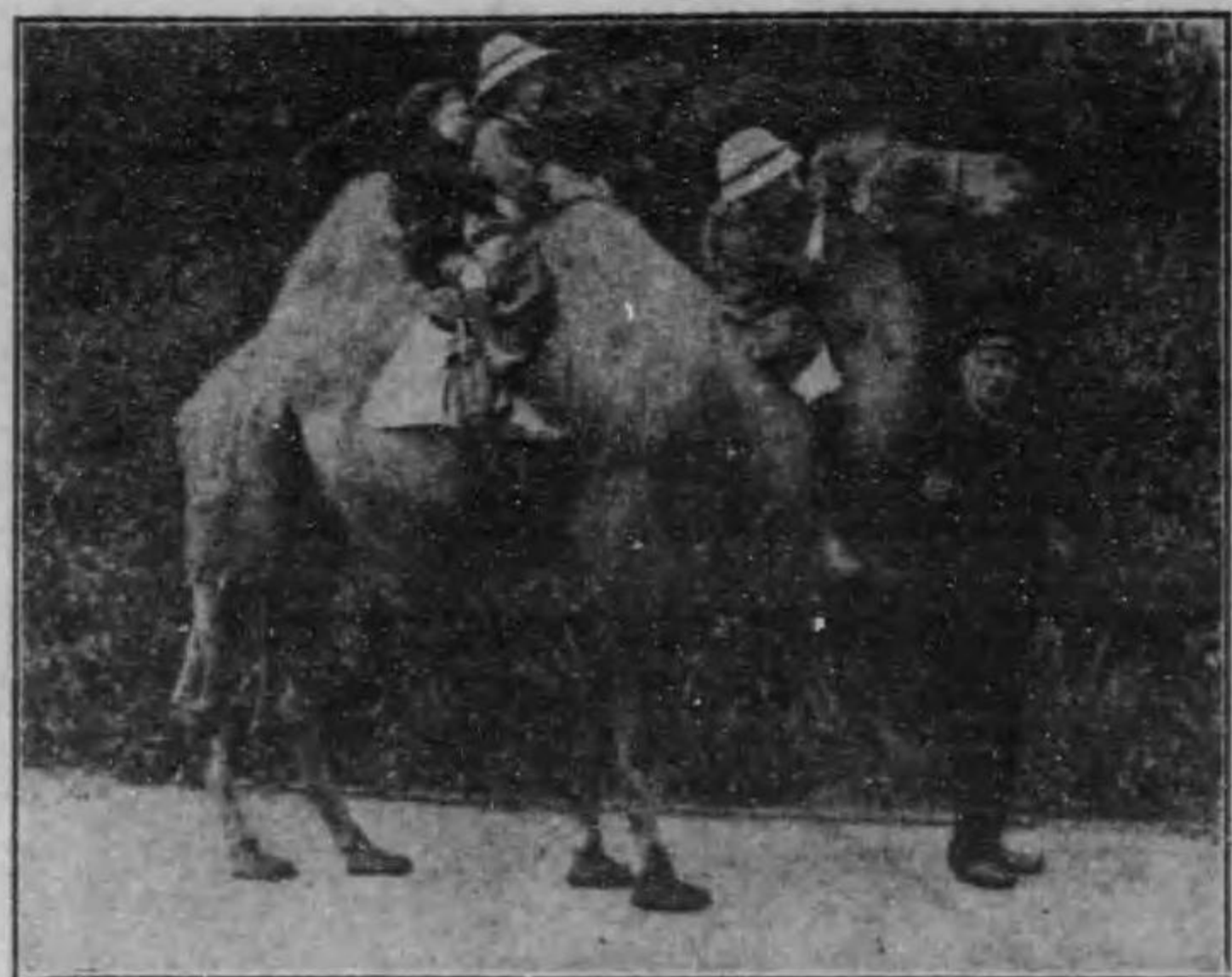


ものは、何時もエネルギーの塊り、陽氣の女神であらねばならぬと、相場がきまつて居ります。然るに我女教師の多くは陰氣の化身です、私は暫く此事を忘れてゐましたが、今日のあたり實物を見ては、「悲しや神戸」と三度心に叫びました。私は日本服で日本へ上陸する豫定でしたが、行違ひのため荷物が手に入らず、止むを得ず、をかきな風して東京行き汽車に乗り神戸を出ました。

英人某夫妻も亦私と一所でした、始め神戸停車場で汽車に乗る時、某氏は英國紳士が英國にてするやうに、大急ぎで改札口から列車にとび込み、隅の席二つをとり、一を夫人に、一を私に、すすめました、私は赤帽に用事があるので一旦着いた席をはなれて外に出て、そしてしばらくの後立ちかへりますと、私より一足先の日本紳士が、丁度あいてる私の席へ着かうとしました、「婦人に席を譲りなさい」と某氏はきめつけました、すると無言でにつこりしながら紳士は立ち去りました、私は如何にも濟まない感じがしました、茲は英國ぢやあるまいし、英國風をふりまはすべきでは無い、夫れに私が居るのをどかせたのなら格別、空になつてた處へ着かうとしたのだもの、追つ立てるのは此方が不法だとも思ひました、夫れ故私は直に某氏を制しながら、「何卒おかまひ無く」と紳士に云ひわけしました、「いや、なに彼方に席がありますから……」と云ひすて、紳士はさつさと彼方へ行かれます、あ、其紳士！こそは、よく見れば恩師藤田先生です、思ひがけ

私の大す  
きな倫敦  
動物園の  
駱駝です  
私は幾度  
も之れに  
乗りました



ない御對面、實にも嬉しい事でもございました、恩師に挨拶してゐる中に、某氏は私にとつておいた席へ自ら腰をおろして、悠々閑とをさまりかへりました、「其席を私の恩師のために下さい」と私が申し出ました、すると「私はあなたに親切を盡くす理由はあるけれども、此日本男子に向つては何のか、はりが無い」と氏ははした、か理窟をならべました、夫人は恰も、「日本の地を踏んだ最初に於いて私の夫が如何に紳士ぶりを發揮するよ！」と云つた風にニコ／＼してゐます、私は少し癢に觸りました、茲に於いてか一計を案じ出して、「では私に下さい」と云つて氏を立てさせておいて、更に恩師を其席へ招きました、先生は「なにそんな事せんでもよろしい」と仰有いましたが、此際さうせねばならぬいきさつになつたので、無理に先生に着席していたゞき、「日本婦人が男子を尊敬する事此の如し」とやりました、英人夫妻は、しばらくはあいた口がふさがりませんでした。

昨夜船の中で夜あかした私は此夜亦汽車で夜を徹して先生と話しました、箱根の手前で夜はあけました、雨はふらなくなつてゐましたが、いやな空模様です、固よりお日様は御出になりませぬ、富士も亦恐しい黒雲中にたてこもり、夫れぞと仰ぐべき方角も分りませぬ、外國から歸る折に先づ嬉しいのは、富士に迎へらるゝ事だとかねて聞いてゐますが、私はかくて富士にさへ迎へられませぬ、お日様にさへお目通り叶ませぬ、「之れからの私は一層不遇」……とした、か胸が騒ぎました、私はかねてより誰にも迎へてもらひたくない、たゞ富士と太陽とはどうあつても迎へてもらはねばならぬと念じて歸りましたら！ 噫！ 其甲斐も無く！ 邦を立つ時は新橋から出ましたが、歸る時は東京驛におりねばならなくなつてゐました、新橋ならい、のにと、妙な事を残念がつて東京驛に着けば、之れはまた想像以上の立派なかまへ、倫敦にいたんぢやあるまいかと思ふ位、然しチャラ／＼とひやく下駄の音はまぎれも無い日本です。

お茶の水附近の旅館にでも落ちつきませうと存じて、人力車に乗りました、車は見覚えのある街路を通つて神田へと急ぎます、此時始めて少し日がさし出しました、嬉しやと仰げばドーンと空には異なもの……花火が上りました！ 今日は一體何なんでせう？「さうだ私の歸朝祝……夫れに相違ない」かう解釋して、私は傲然と車上にかまへました、富士のかあ様、日輪のおどう様

に迎へられなかつた不遇の孤兒を、かくて東京市が花火で歓迎致しました。嬉しや東京とにつこりしました。

いさ、かのゆかりを頼つて着いた旅館では、大變に親切にしてくれました、部屋にはいつて旅装をとけば、丁度午前十時です、船から持ちこしの疲勞をいやすべく夕方まで休息しました夜になると空晴れて左手に昇つた月、右手にあらはるゝ花火、私は階上の窓にもたれて、右を仰ぎ左を眺めて、しみ／＼と日本の時を味ひました、英國はもう遠い／＼西洋の彼方にへだ、りました。

折りも折り、招魂祭日に偶然かうして歸朝した事が、私には得も云はぬ感想の種です、英魂を弔ふ一端なる花火を「我がため」などと、眺めるのは罰當りだと思ひました、早速女中のきものを借りて日本の服装となり、靖國神社へお詣り致しました。あくる日また止むを得ずをかしな洋服姿で學校へ行き校長室

最も明に  
私の記憶  
に残つて  
る倫敦の  
トラフハ  
ルガルス  
コヤ！



其四十七 悲しや神戸嬉しや東京

をノックしました「カムイン」と凜としたお聲、私は轉けるやうにはいりました、甚だ御壯なる中川校長の御氣色、嬉しさが先づこみ上げました、だしぬけなれば、固より思ひがけない校長様は「オヤツ」と仰有つて一寸あつけにとれた御様子でしたが、次ぎの瞬間には莞爾たる笑みをたたへられて「ウエルカム」と握手をして下さいました、日輪のおとう様にまさる學校のおとう様にかうして迎へていたゞきました、嬉しや東京と心の中にくりかへしました、同時にあはれ「山行かば草むすかばね、海ゆかば水つくかばね……」と校長様や學校に對して誠心誠意誓ひました、思へば校長様よりは數へきれぬ御恩の數々を賜はり、謝するに辭なき御配慮の色々を賜りました、私は全く校長様のお蔭様で洋行が出来たのです。

もう私は一人しづかな日本の時を賞味してゐるわけには行かなくなりました、西に東に東京市中をかけめぐつて、先生方や友人などに御目もじを致しました、しかし何處へも豫定通り何のおみやげも無い手ぶらの挨拶、身を斬る様に覺えました、しかるに行く先きくでは「なぜこつそり歸つて来た」と鋭い御攻撃、たとへ様もなき御親切を表されました、あ、さはれ迎へていたゞくには餘りに價値なき此身！こつそり歸つたが、なぜ悪いでせう？

お世話になつてゐる永井先生のお宅へ上つた時はあいにくの御留守でした、がつかりして歸る道

私の記憶  
に最も明  
なる倫敦  
園藝館の  
草花共進  
會



其四十八 墓前の洗禮

すがら、車は江戸川べりの櫻の木かけを通りました、噫思ひぞ出づること、こそは、先年井口先生と初夏の夕を、行きつ戻りつ涙押し拭ひくゝそらあるきした處なれ、夫から旬日なけらぬに先生は望みを懐いて遠く行かれました、仰げば茂れる櫻の葉かけ、あはれ師の君！思へばなつかし又悲し、あはれ斯界の偉勳者！幸多くあらせ給へ！

### 其四十八 墓前の洗禮

俄かに私にやつて来た盆と正月と節句とお彼岸とを其ま、東京に残して、私は歸朝第三日目に生れ故郷へ歸りました。健全なる母や弟妹を見る嬉しさはさる事ながら、最早此世の人ならぬ祖父を思へば悲しうございます、わかれの團居の數には足らぬ人の頭を數ふるにつけても先づ催さるゝものは涙でした。

日本一の御錢別に對する最善のおみやげ……義理にも無いとは云へませぬ、いでや御披露申しませうと鹿爪らしく云ひ出づれば、何やらんと目を見る母や弟、いや／＼私のおみやげは金銀珠玉、乃至は綾錦の様な目に見えるものではございませぬ、ま、お聞き下さいませ。武に強き日本の國の體操はどんなに立派なものだらう、其又體操の先生と云ふ人はどんなにえらいお方だらう、殊にはアツスイスタントプロフヘツサーと肩書のある者、之れは滅多に手をつけられぬと、キングスフヒールド校では大に私を恐れてゐた相です。ところが見てびつくり、聞いてびつくり教へてびつくり……びつくりごつこのやり通し、成る程之れは驚くべき代物と相場をきめられませんでした。

顔の醜い、背のひくい、肩の突ツ張つた、胴の大きい、そして手足の不恰好な私は、まあ人體美と云ふ方では全くとりどころがございませぬ、人體美を備へぬ者は體操教師たる資格が無いと英國では申して居ります、故に私は此點からして一目で落第と値ふみされました、然し英國のさる有名な體育家で、丁度私に類似の身體を持つてゐる方があるとやらで、「夫れにあやかれたら……」と云ふやうなわけで、落第ながらも頭はつながりました。

水泳を御存じですか？ と一教師からきかれました、存じませぬと臆せず答へました、以下總

べて同様……即ち醫療體操？ 存じませぬ。日本國民族舞蹈？ 存じませぬ。日本國民族音樂？ 存じませぬ。ホツケー、ラクロツス等の競技？ 存じませぬ。槓杆や重心の理法？ 存じませぬ。生理解剖？ 存じませぬとやりました。かく何を問はれても存じませぬの一點はり、聞いてびつくりする筈です、待てよ、日本婦人は何んでも存じませぬと答へる習慣なのかも知れない、そんならひとつ變つた試験をせにやなるまいと、教師方は相談せられた相です。

そこで醫療體操の先生は、「全身疲勞を感じてゐる者と心得て按摩を」と私に註文されました、「私按摩なんか存じませぬ」と例の如く頭を横にふりましたが、いつかな先生はき、入れませぬ、止むを得ず先生の背をさすり肩を叩きました、「二三分の後別の事をやるやうに」と注意せられました、だつて私は之れ以外に施すべき術を存じませぬ、途方にくれました、すると「もう、ようござんす、分りました、御苦勞様」と頗るやさしくにつこりせられました、人を馬鹿にするのも程があるかわけを知らない私は憤慨しました。醫療體操ゼロと評點せられた事も知らずに！

解剖生理の教師は、左の肩胛骨と右の腰骨を見せて何だとき、ます、夫れ位は正しく云へました、すると「そりや御覽なさい、あなたは生理解剖を御存じなんでせう」と大發見でもしたやうな大満足の状態です、更に「之れに附着してゐる筋肉は？」「其筋肉を通過してゐる神経の工合は？」

と尋ねられました。もう分りませぬ、茲でも私はゼロをもらひました。

一日武装させられ、ホツケー競技場へ連れて行かれました。私のは無論最もやさしい役目でしたけど、弾丸のやうにとんで来るボールがこはくて何とも手が出ませぬ、氣ばかりもんで大汗になつてゐる處へ、鋭い敵の一撃がボンと私の向ふすねを射ました。其時は痛くもかゆくも覺えませんでした。が、濟んでから見るとお饅頭のやうに腫れ上つて居ります。はれたところを實際見た後は、急に足の自由が利かなくなりました。「競技上に立つた事の無い人間」とこゝでも立派なゼロです。

「舞踏を……何でもい、から」と舞踏の先生から所望されました。十種許りの歩法演習と三つ四つの手振りとをやりました。ゼロだつたに違ありません、之れから餘程過ぎた時、「あんなをかしな舞踏を見た事がない」と先生が涙こぼして笑はれました。

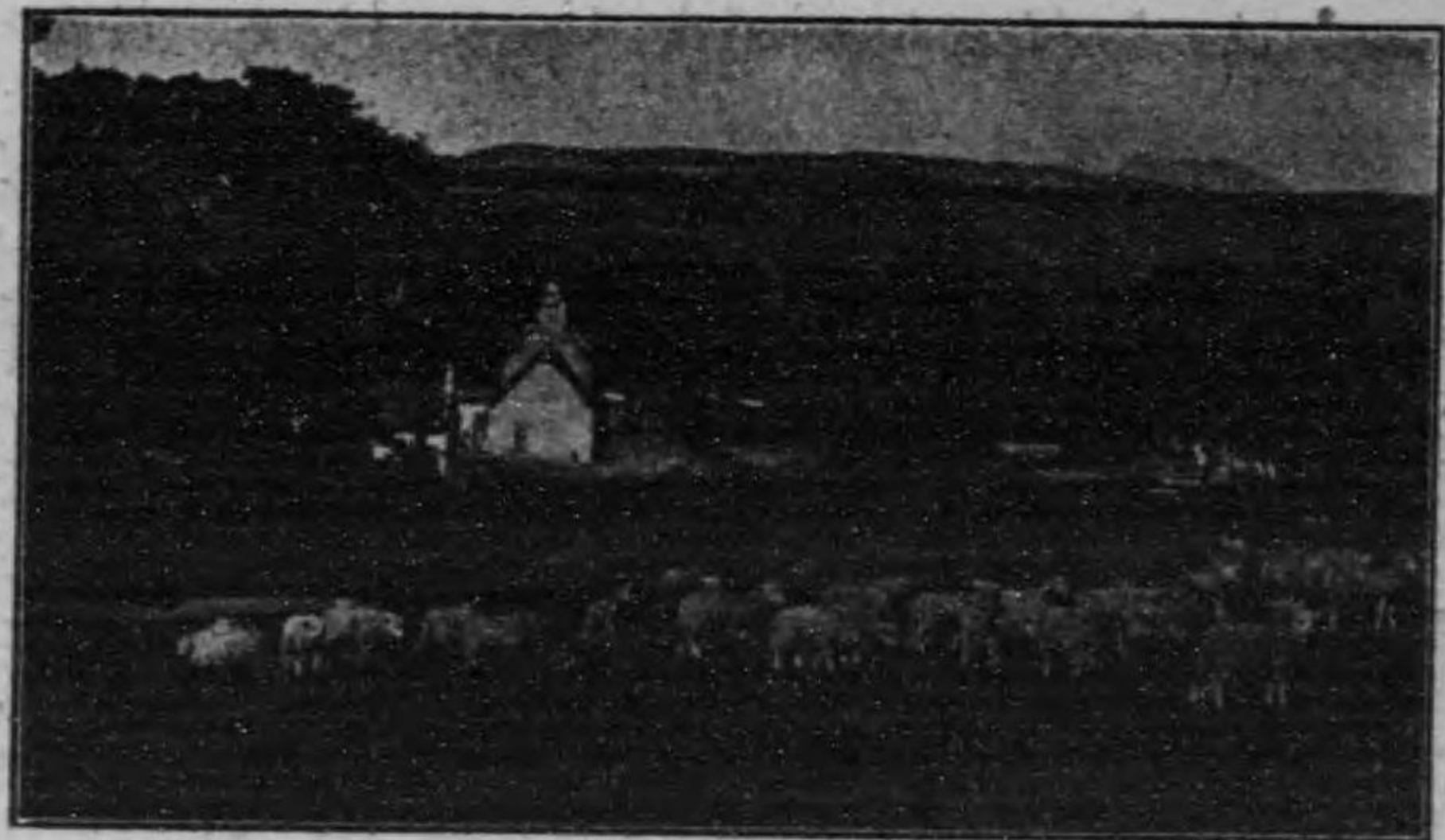
「日本のうたをうたひなさい」と命ぜられましたので、知つてゐる限りの唱歌を殆んど悉くうたひました。けど、どうも日本くさくないとて音楽の先生は承知しませぬ、そこで「高い山から」を一所懸命でやりました。すると教師は始めてにつこりました。「それくくくそんなのを澤山おうたひなさい」と重ねて云はれましたが、大にも小にも私にうたへる純日本唱歌は之れだけです。

「日本の國民でありながら、日本のうたがうたへないとは怪しからんぢやありませんか」とたしなめられました。こゝでも無論ゼロです。

「此脚の運動は何種杆槓に當りますか」と、教育體操の先生が懸垂姿勢の一脚鉤狀運動を見せました。杆槓が何だか分らないのに、其何種であるかは猶更以て分りませぬ、まごごくしてると、次に「ちや第三種杆槓の理法に基いて臂を動かして御らんない」と愈々以て駄目です。そんな事が私に出来てたまるもんですか、立派なゼロを頂戴致しました。

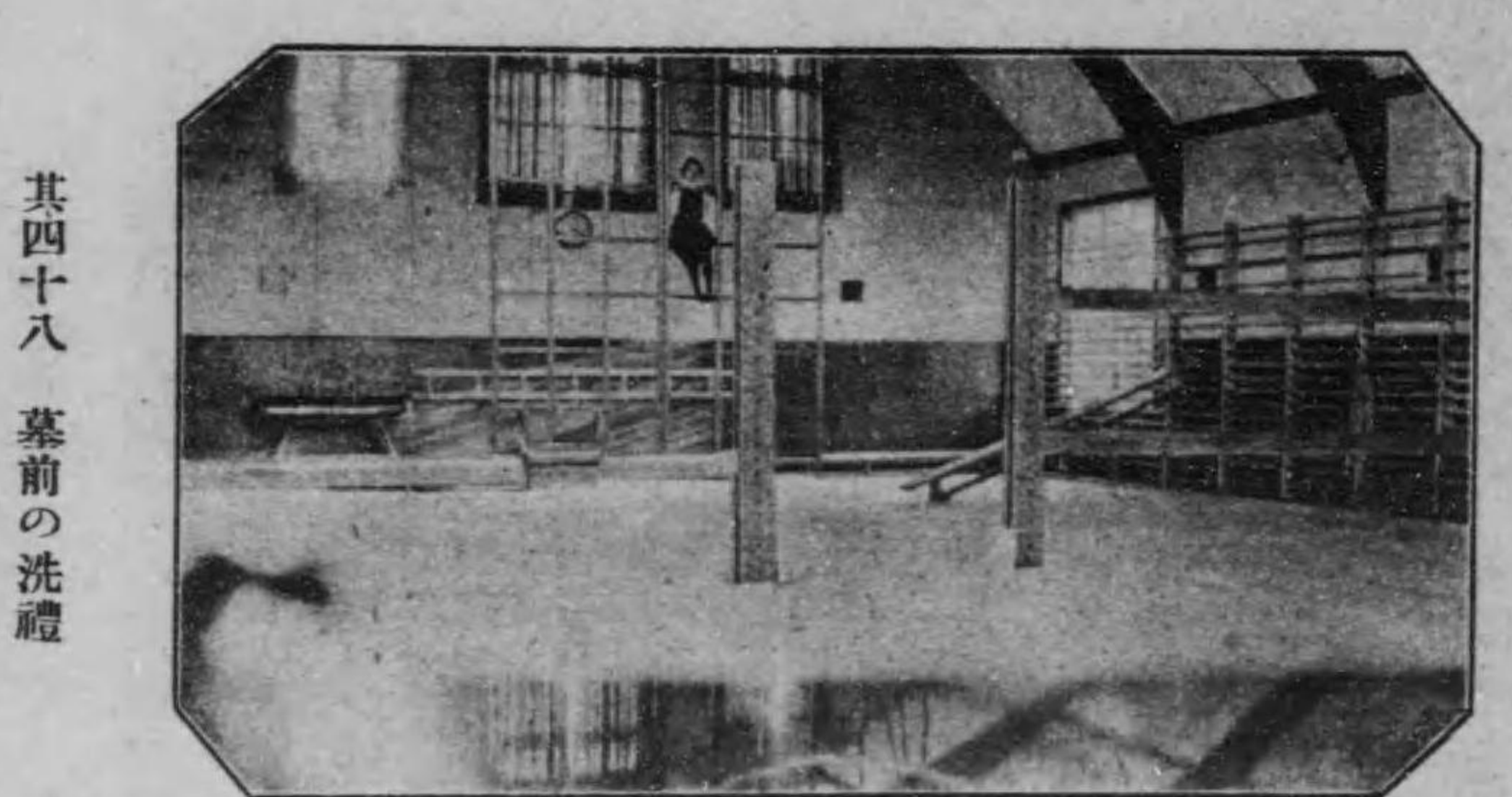
「一體まあ何をあなたは教へてゐました？ 體操のアツスイスタントプロフヘツサーとして……長らくの間……」と教師一同が私を呼んでたづねました。「スキーデン式體操を教へました、即ち脚の運動、上肢の運動、頭の運動、平均、跳躍、軀幹の諸運動や懸垂と胸張りなんかやります」とすまして答

私の最も  
すきなス  
コットラ  
ンドの羊  
の牧場



其四十八 墓前の洗禮

へました。「は、おそれぢやスキーデン式教育體操の一部をやつてゐるんですね」と首席は申しました。「外には全く何もやらないんですか」と次席は念を押しました。「やります、兵式體操、遊戯競技をも併せて行ひます」「ぢや夫れ等をやつて見せて下さい」と一同は勇み立ちました。「でも兵式は私にやれませぬ、遊戯は此間舞踏の先生の前で既に御披露致しました、では家庭競技を少しやりませう」とて、羅漢あそびを始め、篠田の森の狐つりや白ひけ頂だい、さては鼻々遊びや、はけ頭などを試みました。「じつに面白い」と許り材料につかはれてる先生が夢中になつてしまひました、之れは確かに百二十點の好成績です。「實に興味のある競技ね！ 惟ふに之れ等は室内ゲームスに屬するもの、スキーデン式教育體操の教程中に組み入れて、ちよい／＼手輕にやるべきものかと考へられます」と、競技のチャンピオン先生は批評しました。「もつと、何かありませんか？」さうですな柔道、薙刀、擊劍、乗馬、テニス、ベースボール、ボート漕ぎ、弓術などがありません、ですけれど私がやつて御目にかけるわけには参りませぬ」と云はれぬ先きから斷つてしまひました。



其四十八 墓前の洗禮

窓梯子に  
上つてゐる  
女學生が  
私の最も  
親しい友  
人のラウ  
ドンです

らひに來たんぢやありませんか、夫れをよつてたかつて侮辱するとは、何と云ふ大人氣のない事だらう」と思ひましたので「私は教へに來たんぢやありませんか、學ぶために來たんです、又自分のを見せるのが目的でありませぬ、あなた方を見る事を目的としてゐます、若しあなた方が學びなければ：見たければ：私があなたの國に來たやうにあなた方が日本へお出でなさい、日本にはえらい體操家がゐます」と申しました。「其腹立は尤もなれど、決して私共はあなたをおもちゃにしたわけではありません、只武に強い日本の體操の先生はどんなにえらい腕を持つてるだらうと考へたので、其腕前を知らんが爲めに色々伺つた次第です、あなたの眞の腕前を知らないでは何をお教へ申す事も出來ないぢやありませんか然るにあなたは何でも『存じませぬ』の一點張り、私共はどうして夫れを信する事が出來ませう、そこで更に手をかへて

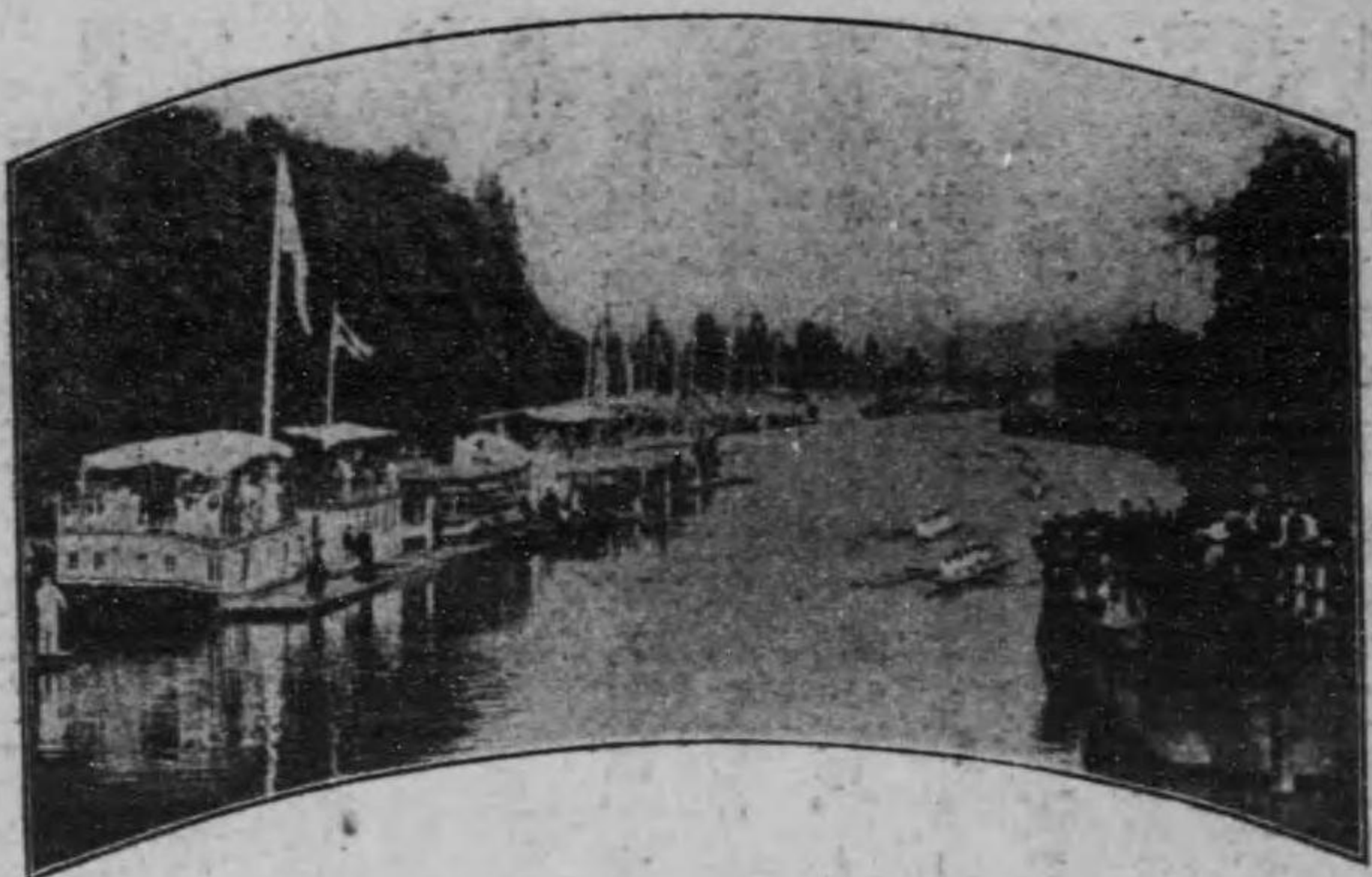
あなたの實力實驗をやつた様なわけです、私共の苦心も御察し下さい、之れで漸くあなたの實力が分りましたから、如何に教育すべきかの方針を立てる事が出来ます、私共はこれから大にやります、あなたも其つもりで努力して下さい」と説き聞かされ、始めて知つた一部始終、面目無いとも有り難いとも云ふべき言葉がありませんでした、而して自分は何て無能な助教教授だらうと實になさけ無くなりました。

「英國に行つたつて、さう變つた事はあるまい」なんかと思つて行つて見れば、一から十まで變つた事許りです、第一體操科の目的、範圍、内容、形式が、今まで私の考へたものとは實に雲泥の差です、従つて體操の教師なるものが嘗て考へて見た事も無い程博學多藝の人です、今迄體操の教師と云ふものは、大きな聲で號令をかけ、生徒の手足を動かすより外には何の藝も無いものだと思つてゐましたが、英國の體操教師は、生理學、解剖學の知識は勿論、體育學の理論を極めた學者です、體操も出来る醫療體操も施す、舞踏もやる、競技も試みれば、水泳も行ふと云ふ有様です、ですから立派な教育者として、立派な主婦として、又立派な體操家として、色々な方面に其技倆を發揮し得るのです。體操教師は、體操教師としてより外につかひ途のないものだと思つてゐた私は、かう多方面に役に立つ英國體操教師を不思議に思ひました、大きな聲が出なくな

り、手足を動かす事に故障が起ると、日本の體操教師は、早速廢物にならざるを得ませぬ、處が英國の體操教師は、何が起らうと多々益々辨ず、一がいけなけりや他の一にかへて幸福にはたらいてゐます、かくて一生體操教師として何れかの部に天晴旗をひるがへす事が出来ます、「人をわざわざ體操教師にするんなら、かうした博學多藝の者にせいやなるまい」と私は心から肝銘しました。

體操は上から下まで「手を腰にとれ……とれ」でやるべきものと思つてゐましたが、英國では、幼兒にはお守りの模擬體操をやらせ、少し大きくなつたものには、保護愛育的のいはゆる體操を科し、而して少壯時代のものには専ら鍛鍊的の競技などを與へます、かう年齢に依つて夫れ々體操をつかひける事が實に巧妙なものです、之れも私の知らなかつた一つです。

美しい水の  
のテーム  
ス河で、  
オックス  
フォード  
大學生が  
ボートレ  
イスをし  
てゐる處  
です



其四十八 墓前の洗禮

それからはゆる體操教師なるものは、英國では悉く婦人です、男子は曉天の星に過ぎませぬ、而して其女流體操家が行ふ處の、體操の教授ぶりがまた違つてゐます、一言にして云へば、英國のは實に上品に且しとやかな授業でございます、大勢を廣いところで指揮する時の外は、大きな聲の號令をかけませぬ、眞に耳ざはりのい、穩な調子のやさしい聲色で教授をやります、夫れ故「あさましや……あれが女……」とあきれて教授者を見上げるやうな事は決してありませぬ、こゝらは日本と非常な變り様です。

更に根本的にかはつてゐる事は、すべての技が確乎たる理論の上に立てられてある事です、理論が既に根本的の了解を與へて居りますから、日本のやうに些細な技術上の相違から喧嘩を始める事はありません、英國の體操は、もう堂に入つたものです。そも、わが國海外留學生なる者は悉く、其専門の研究に於いて一オソリテをなす學者です、かゝる學者をおくり出す日本は、名譽でございます、しかるに一人私は「何も存じませぬ」と云ふ恐らく古今未曾有の留學生、之れが武に強い國の體操教師かとあきられた大代物です、正しく國辱！ あ、此の如き留學生を再び外國におくり出すこと勿かれ、若しおくり出さんと欲せば、先づ國內に於いて本式に仕立て上げざるべからず、仕立て上げるには、其機關無かるべからず、請ふ世の識者、國を憂ふる志士

一臂の力を未だ無い此機關のために割與し給つて、何卒、女子體操専門學校を建て、下さい。

それからあしかけ四年、僅に二年有餘を勉強したとて何が出来ませうぞ、矢張り何も存じませぬ、此「存じませぬ」が、即ち私のおみやげでございます。

「それぢやお上に申譯があるまい」と、母や姉妹は打ちしをれました「何が出来なくても構はない、達者で許り歸つてくれ」と云つて私を立たせた母も、達者でかへられて見ると、其上の慾が出るものと見えて、何にもないみやげを、した、かに無念がります「行つて來さへすれば箔がつくんですよ」と人をおだてた姉妹も、「折角洋行させられて、元の奎兵衛の存じませぬとは甚だ面目が無い」なんかんとふくれました。でも何でも「存じませぬ」あ……あ！

私が邦を出た翌年の春、祖父は永眠致しました、九十と云ふ高齢で眠るが如く大自然に復歸したのですから、歎くべきではありません、しかし杖にすがつて送つてくれた姿が、文字も生々しい石碑とかはつてゐるのを見ては、泣かずに居れませぬ。

祖父が眠つてゐる宮城野の片ほとりに行つて、私は例の如く一人、墓前にた、すみしました、今を盛りと散りしく墓畔の八重櫻は、風なきにハリリくと舞ひおちて、木像の如く立てる私の頭に手に足に袂に袂にたまります、折りも折りとて、益々もの、無常を觀じつ、思はず瞑目合掌墓



足掛四年

三九二

前に拜すれば、「櫻花の洗禮」と何ものか私の心にさ、やきました、實にも！二首の和歌でよく  
つてくれた祖父は、いま櫻花の洗禮で私を迎へ入れました、あなたふと！大和心の淨めとや

# 足掛四年英國の女學界終

大正六年九月二十三日印刷  
大正六年九月二十六日發行

定價金壹圓貳拾錢



著者 二階堂トクヨ

發行者 大葉久吉

東京市日本橋本石町三丁目拾七番地

印刷者 渡邊八太郎

東京市牛込區榎町七番地

印刷所 日本印刷株式會社

發行所 關西專賣

東京市日本橋區本石町三丁目  
振替口座東京二八〇番  
大阪市東區淡路町四丁目  
振替口座大阪四三番

東京寶文館  
大阪寶文館  
會社

東京女子高等師範學校教授 二階堂登久著

### 體操通俗講話

布製 全一冊 定價金貳圓 送料金拾貳錢

本書は我が女子體育界唯一の權威者たる二階堂女士が先年歐米に遊學して研究せられたる最も豊富なる專門的知識を以て著者獨特の抱負を發表せられたるものなり。而して著者は元文科出身の才媛なれば流麗にして趣味深き文學的文字を以て叙述せられたれば、斯學專門家は勿論一般人士に歡迎せらるべき好著なりと言ふを憚からず。敢て一本を薦む。

文部省編纂

### 學校體操教授要目

洋裝 全一冊 定價金拾貳錢 送料金貳錢

由來體操科に於て行はしむる事項は生徒の身體及精神を陶冶するに在るを以て、常に其目的に副はんことを期するは當然の事なりとす。然れども從來各學校に於ては授くる所區々にして往々其の準據する所に迷へるの觀なき能はず。依て文部當局に於て本要目を公示せられたる所以なれば、本書は體操科教員諸君の座右に一日も缺くべからざる好參考書なりとす。

東京女子高等師範學校教授 大江スミ子著

### 應用家事精義

第壹卷 緒論 住居 定價金參圓五拾錢 送料金拾六錢

著者大江先生は、先年英國に家政學を研究せらるゝこと四ヶ年、歸來之が實際教授に當りて十餘年の今日に及べり。其間に研究せられたる家事一切の事項を最も詳細に闡明したるもの即ち本書なり。而して本書は緒論住居の部たる第一卷にして紙數千頁、誠に近來得易からざる家事參考用の一大著作なり。斯科教授の任にある人々は勿論、家庭を主宰する婦人方の一大寶典たるべく、敢て江湖に薦む。

東京女子高等師範學校訓導 堀 七藏 共著  
滋賀縣師範學校教諭 園田愛之助

### 於ける小學校に 家事教授法及資料

布裝 全一冊 定價金壹圓五拾錢 送料金拾貳錢

本書は小學校に於ける家事科の教授及び其資料を収録したるものにして、第一篇には小學校の實際につきて、實地上より得られたるものにして、第二篇には補足教授すべき資料を細大漏さず記述したるものなり。特に著者堀先生は、文部省家事教授には一日も座右に缺くべからざるものなり。小學教育に關する好個の參考書なり。

侯爵 大隈重信著 (文部省檢定濟)

改訂 國民讀本

和裝 定價金四拾五錢  
全一冊 送料金 八 錢

●大隈侯爵に『國民讀本』を著すや、滿天下の歡迎を受け、帝國民の智徳是によつて向上し、憲政の思想之によりて一大進歩を來せり。實に本書は國民の經典として至嚴至大の權威を有したりき。  
●然るに侯は時勢の推移に應じ、之が改訂を施し、舊本と全く其の面目を一新せる本書を公にせらる、請ふ幸に一閱を賜へ。

陸軍中將參謀次長 田中義一著

壯丁讀本

和裝 定價金參拾五錢  
全一冊 送料金 六 錢

●壯丁は徵兵検査の前後に於て、軍事教育を受けるの必要あり。著者茲に觀る所あつて本書を公にせらる。本書は壯丁教育の標準を示し、其統一を圖ることを主眼とせり。  
●本書は青年團の模範讀本として好評噴々たり。請ふ苟くも帝國の青年たる諸君は是非一讀せられざるべからず、敢て薦む。

東京高等師範學校教授 理學博士 龜高德平著

增訂 化學と人生

布裝 定價金 貳 圓  
全一冊 送料金拾貳錢

化學が人生と密接なる關係ある學問なることは多言を要せざるなり。歐洲戰亂勃發以來化學工業を振興し、化學製品自給の途を拓くの急務なるを悟り、更に一層斯學研究の必要を自覺するに至れり。本書は博士が化學と人生との關係を闡明せんが爲に著述せられたるものにして、人生に關係ある化學的題目九十餘につきて趣味ある筆を以て平易詳細に叙述せられたるものなり。眞に近來の名著と云ふべし。

神戸高等商業學校教授 中川靜著

書翰文精義

布裝 定價金壹圓八拾錢  
全二冊 送料各金拾貳錢

本書は現代書翰文研究界の者宿として定評ある中川教授が、多年苦心の結果公にせられたるものにして、既刊書翰文中の白眉たり。幸に御清覽を給へ。各種書翰文に通有せる信書の組織並に各局部、様式、語句用法、慣用語彙、立案手續、整理法、電報に關して通論的に解説して餘蘊なし。季節、問候、通告、人事、金品、要請、會同の七門を経とし、親交、社交、商務、公務の四性を緯とし、更に之を三十九種に分ち、種毎に作成要項、誌料、例文、練習等の各項を設け各論的に井然解説したり。

上卷

下卷

東京高等師範助教 可兒德 群馬縣師範助教 矢島鐘一 共著

小學校遊戲の理論及實際

布裝 定價金壹圓八拾錢 全一冊 送料金拾貳錢

本書は斯道の大家たる可兒先生及斯學の研究者として知られたる矢島先生が研究數年、其蘊蓄を披瀝せられたるものなり。理論の詳細にして徹底せる、本書の如き未だ他に見ざる處にして又實際に於ける説明は一讀以て直に斯學教授の奧妙を極め得べし。されば本書の檢定受驗者及小學實際教授者より唯一參考書として如湧歡迎を受くる所以は決して偶然にあらざる也。尙廣く斯學研究者の間にすむ。

岐阜師範教諭 藤井範治 德島師範教諭 竹澤貞次郎 岐阜師範訓導 梅澤英造 共著

文部省尋常小學編纂 唱歌適用 動作遊戲

布裝 定價金四拾錢 全一冊 送料金六錢

本書は著者が多年實際的研究の結果、文部省編纂の「尋常小學唱歌」を適用して著したるものなり。動作はすべて兒童心身の發達程度に適應せしめんことを努め、又歌曲との連絡に細密の注意を拂ひたり。希くは速かに購求せられんことを。

東京高等師範學校訓導 馬淵冷佑著 (文部省通俗圖書認定)

内教訓物語

天の卷 定價金貳圓 地の卷 送料各金拾貳錢 人の卷 各一冊

本書天の卷には所謂童話寓話の類を蒐集し、地の卷には實際的の話を收め、人の卷には歴史的の話を收む。而して其話材は汎く内外に亘り古今に通じ、名話といふ名話は殆ど卷中に收めて餘蘊なく、趣味津津たる中に巧に教訓の意をほのめかせり。

千葉縣高等女學校校長 高野松次郎著 (文部省通俗圖書認定)

學校家庭 食卓談話

布裝 定價金壹圓五拾錢 全一冊 送料金拾貳錢

本書は學校及び家庭に於ける兒童・子女に對し、談話すべき場合の材料を集録せるものにして、四月より翌年の三月に至る十二ヶ月に區分し、其の季節に適切なる各種の話材を排列す。眞に學校家庭に於ける好個の讀物なり。

東京寶文館發行書目

陸軍少將 山口圭藏著

歐洲大戰と日本の將來

布裝 定價金壹圓八拾錢  
全一冊 送料金拾貳錢

本書は我陸軍の錚々たる戰術家山口將軍の鋭き軍事眼によりて成れる名著にして、先づ歐洲大戰の起因より各列強參加の順序を闡明して、獨逸の強盛なるを力説し、進んで各國の兵備交通機關を明示せり。而して交戰當初の作戦經過に至りては陸海兩方面各軍に就いて専門的に詳述せり。就中開戦以來使用せられたる新兵器新戰具の説明は最も注目すべく、最後に叙せる『日本の將來』に至りては實に憂國赤誠の大文字と云ふべし。敢へて江湖に薦む。

京都帝國大學 文學士 成瀬 清著

文學に現れたる笑の研究

布裝 定價金壹圓五拾錢  
全一冊 送料金拾貳錢

猿の笑、嬰兒の笑より、惡魔の笑、神の笑に至るまで、笑の起源發達を説き、ユーモアの本體を究め、例を東西文學に求めて百性・飲酒家・盜賊・香具師・商人・僧侶・軍人・幫間・食客・奴隸・老人・惡魔・自惚家・守銭奴・偽善家・道學者・悲喜劇人物等を拉し來つて縦横に評論し、最後に笑と人生觀との關係とを説き、諷刺・自嘲・樂天等の態度を明かにし、尙附録として、ヘッケルの「笑の滑稽の生理」及「リッププスの滑稽及ユーモア論」を紹介す。

東京寶文館發行書目

東京高等師範學校訓導 相島龜三郎著

改訂尋常修身書例話原據 全一冊 定價金貳圓五拾錢  
送料金拾貳錢

東京高等師範學校訓導 相島龜三郎著

文部省要項進據 修身教科書配當 作法新教授書 全一冊 定價金壹圓五拾錢  
送料金拾貳錢

教育實際社編纂

文部省調査參照小學 國定修身書進據學 作法教授細目 全一冊 定價金六拾錢  
送料金六拾錢

文部省調査

小學校作法教授要項 全一冊 定價金七拾錢  
送料金七拾錢

文部省調査

中學校師範 學校小學校 作法教授要項 全一冊 定價金拾貳錢  
送料金拾貳錢

文部省調査

師範學校 中學校 作法教授要項 全一冊 定價金拾貳錢  
送料金拾貳錢

工5N-55

東京實文館發行書目

東京高等師範學校教授文學士高木敏雄著  
●修身童話の研究其と資料  
全一冊製 定價金五拾五錢 送料金八錢

教育實際社編纂  
●勅語準據小學校訓示教案  
全一冊製 定價金九拾錢 送料金八錢

教育實際社編纂  
●大正祝祭日新訂講話資料  
全一冊製 定價金壹圓八拾錢 送料金拾貳錢

教育實際社編纂  
●戊申詔書を中心としたる講堂訓話  
全一冊製 定價金七拾錢 送料金八錢

內藤慶助著  
●教育勅語教授資料範例大鑑  
全一冊製 定價金貳圓參拾錢 送料金拾六錢

法學士福地惣治謹撰  
●憲法發布勅語演義  
全一冊製 定價金貳拾錢 送料金貳錢

終

